



# ごさまる通信

**3月11日は「いのちの日」**

中城北中城消防本部の隊員さんをお呼びして  
救命講習会を開催します。



たいせつな人を守るため、  
**みんなにできることがあります！**  
救命について楽しく学びませんか？

きゅうめい  
**救命講習会  
&  
上映会**

参加費無料  
予約不要！



▶ **3月25日(水)** 13:30開場  
16時終了予定

場所：中城村護佐丸歴史資料図書館 3階企画展示室

上映作品

▶ **はたらく細胞7-出血性ショック-**



(あらすじ)  
「生命に関わるレベルのダメージを確認！」  
この緊急事態を受け、現場付近に急行した白血球(好中球)。

だが、そこには守るべき白血球たちの姿はなかった……！  
大量出血により、すでにおびただしい数の白血球たちが、  
傷口の外へと飛ばされてしまっていたのだ。

今もお続く出血——過酷さが増す状況下だが、  
この世界を守るため、仲間たちを救うため、  
赤白血球は後輩赤白血球とともに酸素を運び続ける。

終わりゆく世界、細胞たちを待ち受ける運命は——！？

あらすじ引用: DVD『はたらく細胞7』 内容紹介より  
(C) 清水茜 / 講談社・アニプレックス・davidproduction

上映時間46分

〒901-2407 中城村字安里215番地 ☎098-895-5302

今月の特集コーナー

2階一般書コーナー

転ばぬ先の1冊

防災・救命など、  
もしもの時に備える  
ための本



1階児童書コーナー

春ってどんな季節？



## 図書館からの大事なお知らせです！

お願い  
します

**返却忘れの資料はありますか？**



新生活を迎えるその前に、いま一度、未返却の  
図書館資料がないかご確認ください。開館時間に  
間に合わない場合は、正面玄関の返却ポストを  
ご利用ください。

**図書館の資料は村民の皆さまの大切な財産です。  
必ずご返却いただくようお願いします。**



# 3月 開館カレンダー

おしらせ

在勤・在学・団体の

利用カードをお持ちの方へ  
更新のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	⑦
⑧	9	10	11	12	13	⑭
⑮	16	17	18	19	⑳	㉑
㉒	23	24	25	26	27	㉘
㉙	30	31				

在勤・在学・団体の利用カード  
をお持ちの方は 3月31日で有効  
期限が切れます。

4月1日以降に再度更新手続きが  
必要になりますので、ご注意ください。

平日は 19 時閉館 ○は 17 時閉館 ■は休館日 3/8(日)はおはなし会

## 館長通信 VOL.58 沖縄の電化生活

先日の停電ではご迷惑をおかけしました。薄暗い学習室での勉強や、ランタンを頼りに本を探すのは大変だったと思います。停電中、私は日頃無意識に電気に頼って暮らして来た事を痛感していました。さて、沖縄ではいつから電気を使うようになったのでしょうか？それは明治43年12月15日で、「沖縄電気株式会社」が初めて那覇で電灯を点けて市民を驚かせています。久茂地発電所から那覇・首里を中心に配電しました。その後、大正7年「宮古電灯」、大正13年「名護電灯」、昭和2年「八重山電気」の各社が開業。しかしこれで全県的に電気が普及した訳ではなく、市街地だけの供給だったようです（古堅.1980.『うるまの灯』）。中城村での本格的な配電は昭和30年に与那原、西原、中城、大里、佐敷の5町村を供給地域とする「与那原配電」が設立されてからのこと。『沖縄年鑑 1959年度』の中城村の項には「与那原配電がのびて、ほとんどの部落が電化された」とあります。この時点で、まだ電気のない集落があった事になります。沖縄島で最も電化が遅かったのは名護市源河の「大湿帯」で、昭和57年1月18日に通電しました。近年は耳にしなくなりましたが、昔は年配の方が「小禄ニッポン」というギャグの話をしたものです。「小禄は日本なの？」、「電気が点いているから日本さ！」というもので、今やこれの何処が面白いのかという感じですが、電気が珍しかった時代の雰囲気は出ていますね。